

# かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 24 No11

280号

平成28年11月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## ランチョンセミナー

院長

今月号の題名は皆さんには馴染みがなく、意味不明かもしれません。ランチョンセミナー（ランチョン）とは、学会会場で昼のお弁当を食べながら講演を聴くというものです。昨年8月会長として開催した日本外来小児科学会年次集会にもありましたが、学会が運営するものではなく製薬会社等にお弁当代を含めた費用を負担してもらうものです。

10月15（土）～16日（日）岩手大学で日本保育保健学会が開催され、16日ランチョンの座長を依頼されました。秋晴れの素晴らしい天気で、南部富士の岩手山もとても綺麗でした。旅行記を兼ねて、ランチョンの模様を紹介しましょう。

ここのところ休診が多かったため、診療終了後新幹線で向かいました。盛岡に着いたのはちょうど夕飯時、盛岡だったら冷麺といきたいところでしたが、絶対外せない「盛楼閣」へ。お腹を空かせながら待つ事40分。ちょっと大げさに言えば、念願の骨付カルビにありつく事ができました。量も含めたコスパもよく、残念ながら冷麺にまで手が出ませんでした。



座長というのは司会者みたいなもので、普通は演者の紹介をして、最後に“素晴らしいご講演ありがとうございました”と締めくくることが役目です。簡単そうに聞こえますが、誰でもという訳ではありません。今年は札幌、高松、そして岩手で3回目。大物が選ばれると思いたいところですが、単に目立っているということでしょうか。目立ちたがり屋だけでは選ばれない…？、何かがあるのでしょうか（笑）

さて、話を戻しましょう。講師は大分大学地域医療・小児科分野是松教授で、演題は「感染予防、アレルギー対策、発達障害児支援が、元気な子どもを育む街をつくる」。先生とは不思議な縁で結ばれていて、水痘・おたふくワクチン接種費用助成に際して、先生の書いた論文を参考資料として仙台市に提出したのが始まりでした。その後F.B. 友達となり様々な場面で接することになり、先生は私のことを“日本一の小児科開業

医”と、私も“最も教授らしくない教授”と呼ぶ間柄になりました。そんな関係の中、一方が演者他方が座長という絶好の機会がやってきました。折角のチャンスなので、今までにないランチョン改革、どうせなら新しい旋風を巻き起こそうと相談しながら準備を進めました。演者と座長は別な役割と書きましたが、新企画ランチョンは演者と座長がコラボして、掛け合いしながら進行していくというものです。先生の講演はクイズ形式を導入し、回答を考えることにより記憶に残るという発想です。座長もクイズ用のスライドを作成し、演者の講演に加わるという画期的なスタイルとしました。さらには、正解者の表彰のため、密かに大分県と宮城県産品を持ち込みました。



事前の打ち合わせ通り、座長による演者の紹介は短時間で済ませ、講演に入るや否や座長がしゃしゃり出て練習問題が始まりました。クイズはランチョンに来た理由の“弁当を食べに”“勉強に”“是松・川村の名前”から始まりましたが、参加者は練習問題には大きな意味が隠されていることはまだ知りません。

その後は先生による感染症、アレルギー、発達障害の講演が進み、“同時接種”“ワクチン助成獲得”の動画・アニメーションなどのスライドに合わせて、座長が控え目にコメントするという形式で進行していきました。先生の地域での活躍は目を瞠るばかりで、活動の紹介に合せて行政との関係の重要性を強調した後市長とのツーショットが出てきました。その後、“川村先生は”との振りに続いて、安倍総理とのツーショットが映し出されたのには、ちょっとばかり驚かされました。

さて、座長の講演に対する慰労の言葉も終わり、最後の締めもクイズとなりました。練習問題野流れの「同じランチョンがあったら？」という問、もちろん“是松と川村の名前で参加する”と全員が大きな笑い声とともに手を上げました。当然のことながら、終了後の表彰式では、副賞の「むすび丸名刺」に大いに盛り上がったことも付け加えておきます。

新企画ランチョンは十分その意義を果たしたと、二人とも大満足でした。こんなわがままなランチョンを企画できる信頼と連携に感謝しながら、“持つべきものは友”の言葉と名残り惜しさとともに会場を後にしました。

確認問題：次回ランチョンセミナーに参加する目的は？

- ① お弁当を食べに
- ② 勉強に
- ③ 是松・川村という名前で

**11月のお知らせ**

- ・東北大学医学部学生実習  
11日（金）  
ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願ひします。
- ・栄養育児相談  
2、9日（水） 13:30～  
栄養士担当 参加無料

『がんばろう！熊本 がんばろう！日本』  
“みんなでやれば、大きな力に”

## 読者の広場

先月は9通のメールをいただきました。まずは10月13日にシルバーセンターで開催された「たいはく元気っ応援隊～地域でママを支えよう～」研修会に参加した、お母さんからのメールです。メール紹介前に、まずは研修会の内容を少しだけ紹介しましょう。院長の講演は「健やかな子どもの育ちのためにできることは-子育て支援と虐待予防-」。参加者は保育所関係、民生委員児童委員、各区家庭健康課、仙台市子育て支援課員等で160人を超え大盛況でした。内容は、いつものように生立ちからの自己紹介に始まり、新生児医療を経験することにより、開業理念「お母さんの不安・心配の解消」が生まれたこと。理念に基づく活動を紹介します、実際に寄せられた保護者の叫びや声から虐待予防に結びつく可能性を強調。不安・心配の受け皿をどう作るか、手繰り寄せられる糸で繋がっていることの意味を理解してもらい。参加者一人一人に、その力があることを伝えました。加えて命の大切さを伝える授業の重要性を示しました。講演時間は1.5時間もあり、びしょり汗をかくほど充実していました。もらったメールを紹介しますが、保育士さんなので敢えて匿名にしました。「今日の研修会、ありがとうございました！楽しかったです！猫は出てきたけど、眠くなりませんでした(笑)お母さんとして受け取っていたクリニックニュースやメールの中に隠れた深い意味を、今日は職業人として知り先生のすごさを改めて感じました。そして、私も先生に救われ、教えられ、母として育てられた一人です。一緒に研修に行った職員に、「クリニック、かかりつけなんだー」と話すと、なんとその職員も「うちもー!!」こんなことってあるんですね(笑)(ちなみに〇〇くんのお母さんです。)そこからしばらく盛り上がり、余韻にひたって歩いています。貴重な時間をありがとうございました！先生とのお付き合いからわかる先生のウケ狙いが最高に笑えました(▽▽)こんなメールも、先生が培ったハードルの低さ!？ですかね。お許しくださいm(●)m先生はとにかく、ずっと元気でいてください！追伸。またクリニックニュースに載せたいと言っても、毎度ながらとにかく個人名だけはふせてくださいね(笑)情報の提供はいつも「未来を担う子どもたちのために」。ありがとう！結局は普段やっている当たり前のことが、評価されるのは嬉しいことです。たまたま隣に座った人も、当院のかかりつけという偶然。その偶然で盛り上げられることは素晴らしいことです。



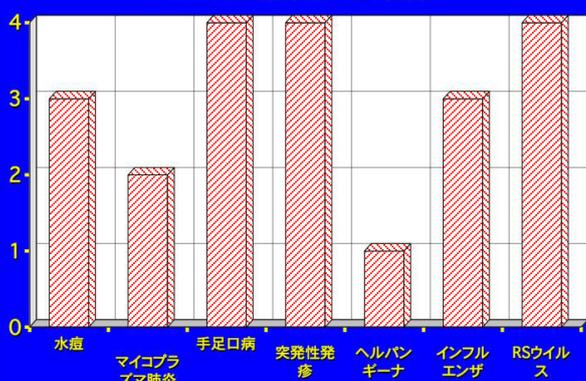
次は太白区家庭健康課の担当者からのメールです。こちら関係者ということで匿名としますが、仙台市子育て支援課在職中からの長いおつきあいです。元とは言えば4月に日本医師会・宮城県医師会で開催された「子育て支援フォーラム」の講演を聴きにきてくれたことが始まりです。フォーラムでは20分という短い時間だったので、もっと長く聴きたかった、そしてより多くの人に聞かせたいという思いで研修会を企画してくれたものです。「本日の講演会では大変お世話になりありがとうございました。先生への謝辞をもっと述べようと思っていたのですが、つたない司会で失礼いたしました。アンケートを見たところではお話の内容は来場の方々にとっても好評でした(当然とは思いますが...)。やはり医師というお立場から垣根を越えてお母さん方の不安と心配の解消に取り組む先生のお姿に胸を打たれたのだと思います。職場に戻れば様々なケースやクレームが待っており、世の中はどうしてこうなったんだろうと憂いておられますが、今日は先生のお話を伺って「すべては子どもの未来のために」という言葉に励まされました。これからも仙台市・日本の子どものためにお知恵と先生のエネルギーを分けていただければと思います。簡単ではありますが本日のお礼を申し上げたくてご連絡いたしました。寒さが増してきておりますのでお身体ご自愛ください。こちらこそありがとうございます。自身が行っている理念に基づく子育て支援活動、ただそれだけでも多くの人たちに役になっているのであれば十分です。しかしながら、その活動が評価されて、講演を依頼され、お礼のメールをいただくことは、いつも言っている外部評価の重要性を地味でいったものです。エールをくれた二人とも「子供の未来のために」という言葉を使ってくれました。こちらこそ、ありがとう!!



## ・B型肝炎ワクチンの定期接種

10月1日からB型肝炎が定期接種となり、無料で接種できるようになりました。対象は2ヶ月から1歳未満児です。計3回の接種になりますが、1回目は2ヶ月、ヒブ・肺炎球菌ワクチンとの同時接種をすすめます。8月生まれからが対象ですが、今年度に限り4月生まれから対象になります。時期がずれると3回目1歳を超える可能性が出てきます。1歳を過ぎると任意接種となるので、早めに接種しましょう。またまたワクチンが増え、接種スケジュールが混乱することが予想されます。スタッフに、しっかりスケジュールを立ててもらってください。詳しくは、スタッフにご相談ください。

## 10月の感染症の集計



季節の変わり目には、熱が続く咳がひどくなる気管支炎が流行します。RSウイルス、マイコプラズマに加えてパラインフルエンザウイルスも検出されています。さらに、インフルエンザの発生もあります。ワクチン接種を始めましたので、早めの接種を!!

## Mail News, Facebook の紹介

**Mail News** は、570人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。



最新情報はFBを見てください。  
Mail News が届かない場合は [kodomo-clinic.or.jp](http://kodomo-clinic.or.jp) をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。

## 編集後記

先日は金・土曜日とお休みをいただき、名古屋で開催された十四大都市医師会連絡協議会に行ってきました。休診とは知らず来院された方もいたと思います。協議会の模様はF.B.に掲載してあります。研修とは名ばかりの研修を行い、いい気持ちで帰ってくることができました。これも皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しています。ありがとうございました。



**K's clinic**

**麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』**  
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!